

「好きな道に進もう」

青木 淳賢（薬学部）

この文章を読んでいる皆さんの何人かは、進学選択を目の前にして、進むべき道に悩んでいるのでしょうか？そんな方々にとって少しでも道標になれば良いと思い、進学情報センターの執筆依頼を受けることにしました。

自分は1983年に教養学部理科Ⅱ類に入学したので、かれこれ40年近く時が過ぎていて、薬学部に決めた経緯をあまりよく覚えていない部分もありますが、一つだけ覚えているのは、「どんな道に進んでも、努力すればなんとかなるだろう」と考えていたことでしょうか？ただ、それまであまり努力らしいことはした経験がなかったので、進学先で地道に努力できる自信は全くありませんでした。また、「東大生なのだから、何とかなるでしょう」といった達観もどこかにあったかもしれません。後者の是非はともかくとして、40年近くたった今考えても、前者の考え方は間違っていないと思います。

「努力をする」ということについて考えてみましょう。「そりゃー努力ができれば、幸せな人生を送れるよ」とだれでも考えるでしょう。確かに、日常的に「努力ができる」ことはそんなに簡単ではありません。しかし、周りから見て努力しているように見える人の多くは、実際は、自分では努力して

いるとは思っていないのです。これはどういうことでしょうか？

私たちの研究について少しお話ししましょう。私たちの研究室は、生体内の油成分である脂質の生物学研究を行っています。これまで、体の中で脂質を作る酵素や、シグナル伝達物質として働く脂質の受容体を発見して、その酵素や受容体の研究から脂質分子の新しい働きを明らかにしてきました。また、脂質分析を行う最新の機器・手法を開発したりもしています。時には病気との繋がりも見つけることができ、薬やバイオマーカー開発を通じ、世の中の役に立つことも経験しています。面白いですし、大変やりがいがある仕事だと思っています。また、このような研究の担い手はほとんどの場合大学院の学生で、優秀な学生さんと一緒に研究を行うことは大変楽しいですし、重責だとも思っています。

研究室では、夜遅くまで実験することもあります。きっと薬学部=Blackなイメージがあるんじゃないかと思います。それでも、やりがいを感じている学生さんは、辛かったり、悲観したりしていないようです。当然、「努力している」とは思っていないようです。つまり、「努力」というのは、あまりやりたくないことを、無理をしてでも自分にやらせることなのだと思います（同じように、「勉強」も「勉強して強いる」で、本来は気がすまないことを仕方なくするという意味ですね）。このような「努力」を専門課程や卒業後の仕事として選択したとしても

おそらくは長続きしません。テスト勉強で1週間頑張るとか、旅行に行くためにバイトを1ヶ月頑張る、といったものとは違うのです。

このように考えてくると、自然と頑張れる（他人から見て努力しているように見える）ようになることは極めて大事で、皆さんは、そのような分野に進むことが理想なのだと思います。でも、その分野が自分にとって何なのかがわからない方がいらっしやるのではないかと思います。そのような方の何人かは、多科目に関して満遍なく得点できる能力を持っているのかもしれません。つまりオールマイティーなのです。ただ、どこかの学部を決めなければならぬ「進学選択」では、オールマイティーは却って仇になってしまうのかもしれませんが、でも、ポジティブに考えれば、何にでも向いているんだから、どの道に進んでも大丈夫と考えることもできます。

自分は、「好きな道に進むことが大事」、「成功への道は一つではない」とアドバイスを送りたいです。皆さんはこれからの人生でいろいろな選択を迫られます。こう言う「それは違うんじゃない」と考える人もいるかもしれませんが、自分は、皆さんの進む道は赤い糸と赤い糸で結ばれているといった、決められた運命では必ずしもないと思っています（結婚するパートナーとはそうあってほしいですが・・・）。今、皆さんにとって好きな道を見つけることは、とても重要ですね。今からでも遅くないので、いろいろな学部や研究室などを訪ねてみる

のはいかがでしょうか？きっと、新しい出会いが見つかると思います。

私は、東京大学大学院薬学系研究科で15年ほど助手、助教授として研究・教育に従事した後、13年間東北地方の旧帝大で研究・教育活動を行いました。昨年、十数年ぶりに東大に戻って、多くの東大生（主に、大学院生、4年生）と接して感じることは、東大生の皆さんは極めて優秀だ、ということです。これは、東大にズーっといる人にはわかりにくいことかもしれません。皆さんの周りには、優秀な同級生、先輩、後輩がたくさんいて、自分なんか・・・と思ってしまうのも無理はないでしょう。それはそれで結構、大いにプレッシャーを感じて、焦ってください。ただ、意識してほしい、気をつけてほしいことがあります。それは、そのプレッシャーによって、自分の行動に積極性がなくなっていないかということです。皆さんは、自分が思っている以上に優秀です。思い切って、少しでも自分が気に入った道に進んでください。繰り返しにはなりますが、これが自分からのメッセージです。